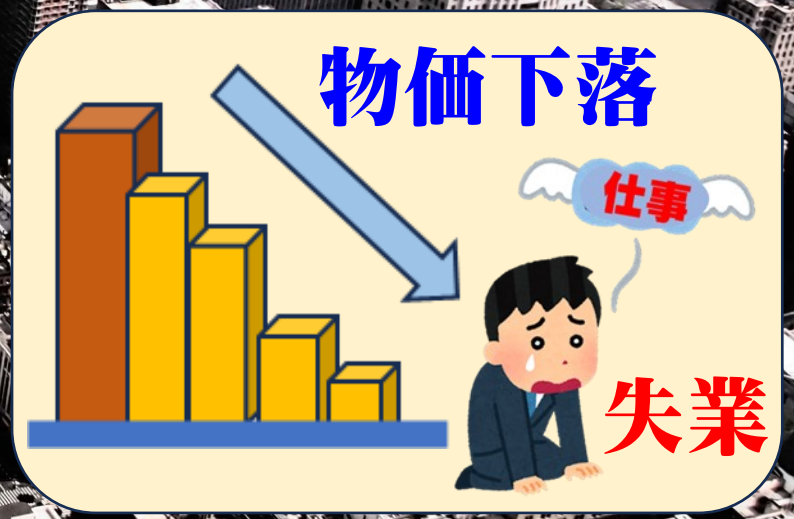
初めての経済用語

デフレ

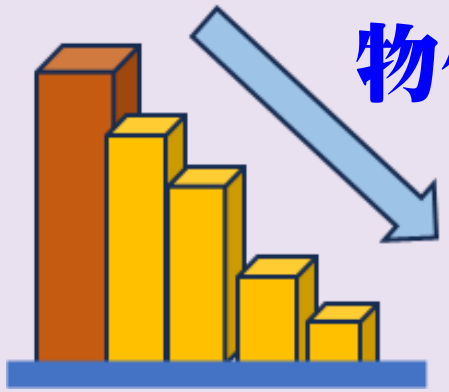
の意味



解説 有馬秀次

こんにちは

今日は私たちが日常生活で
直面する経済現象、「デフレ」に
ついて話しましょう。



物価下落

「デフレって何？」

継続的な物価下落

デフレとは、物価が継続的に下落する現象のことです。物価が下がると、同じ金額で、より多くのモノが購入できるようになります。

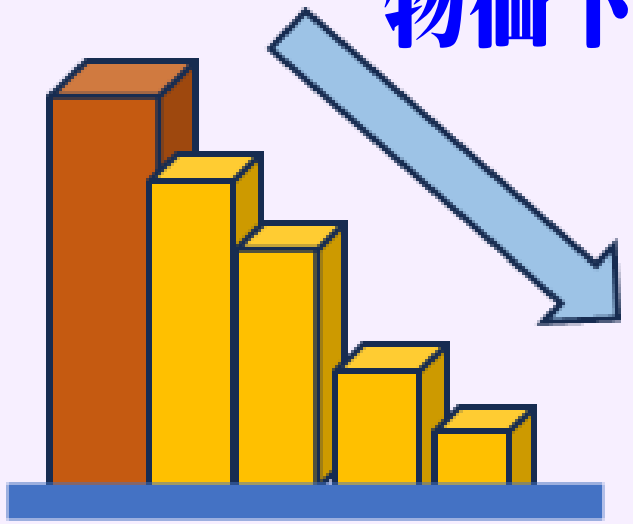
「安く買えてお得！」

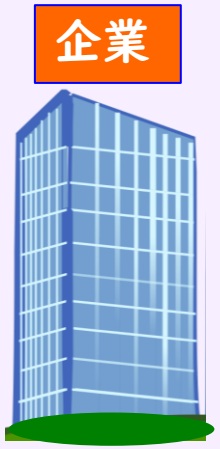
数年後

一見、モノが安く買えることにメリットがあると感じるかもしれません。しかし、長期にわたるデフレは、経済全体に悪影響を及ぼします。

「デフレの悪影響」

物価下落



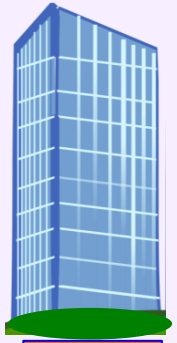


商品価格×販売数量=売上

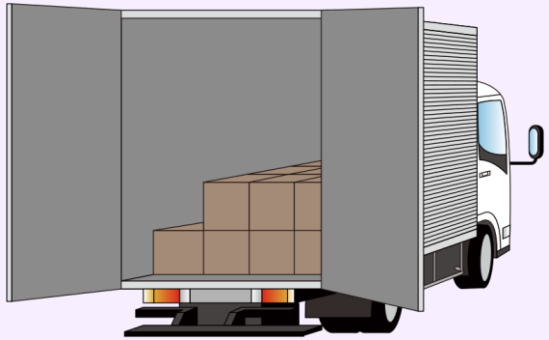
10万円×100個=1000万円

8万円×100個=800万円

デフレは、企業の売上を減少させます。売上は、商品価格×販売数量ですから、販売数量が同じなら、売上は下がっていきます。大量の売れ残り商品（過剰在庫）を抱える企業が増えていきます。



企業



供給＞需要

家計

モノが売れない

値下げ↓

そもそも、デフレは、市場が超過供給に陥ったときに起こります。モノが売れ残る状態で、企業は、自社の利益を確保するために値下げを始めます。

値下がりしてから
買ったほうがお得！

来月に

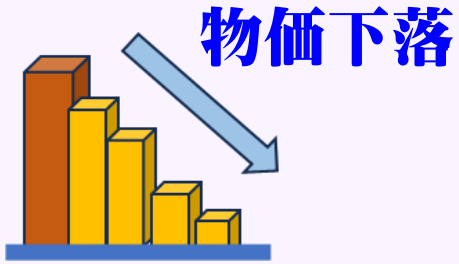
「購入を先延ばし」

にしよう

また、消費者が、近い将来、価格が下がると予想すると、購入を先延ばしにします。結果として、企業業績は、さらに悪化していきます。

さらに、デフレが続くと、企業は賃金を下げたり、従業員の解雇に踏み切ります。

「デフレの悪影響」



過剰在庫

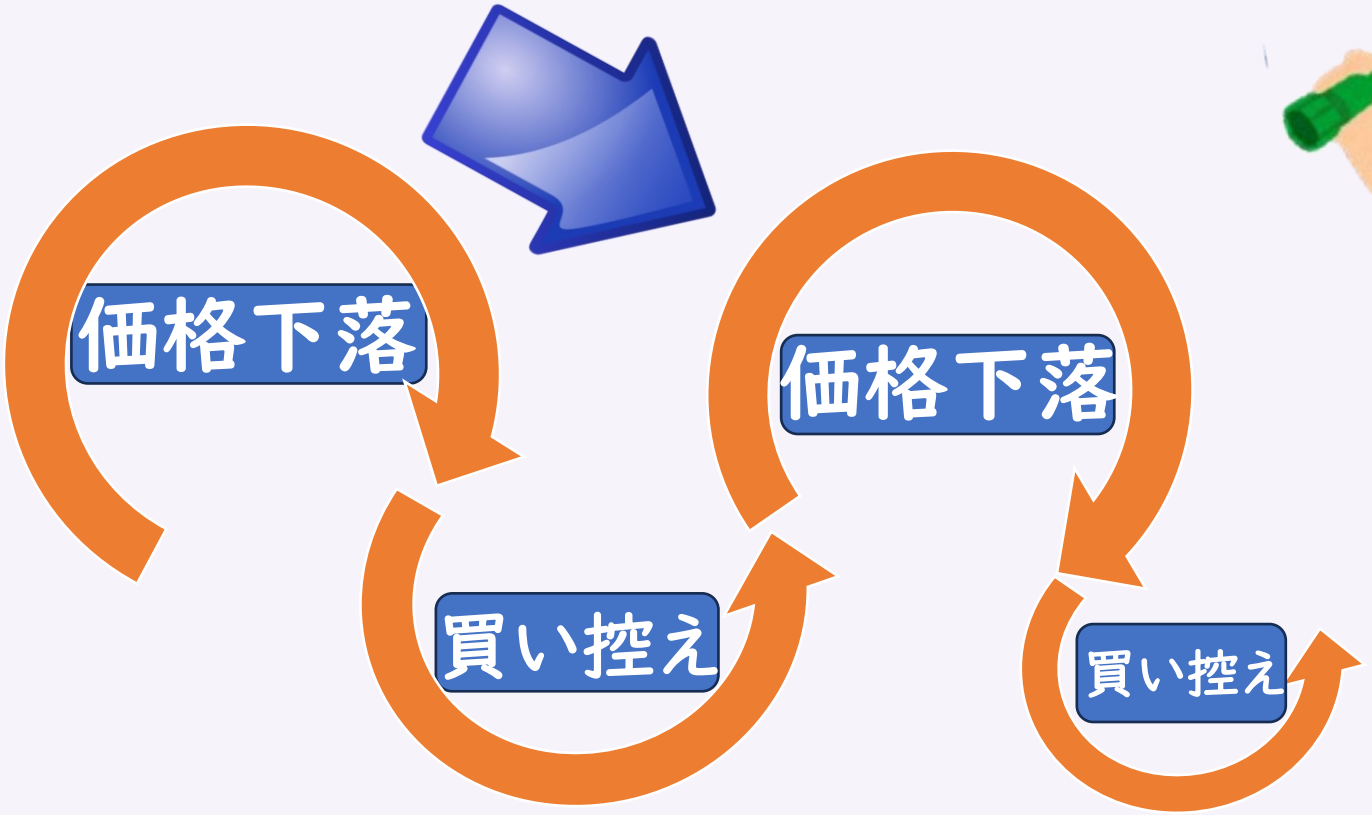
倒産

デフレは企業の活力を削ぎ、倒産する企業を増加させます。その結果、失業者が街にあふれるようになります。デフレは、市民が新しい仕事を見つける機会（選択）を減らします。

“デフレスパイラル”

景気

（取引の勢い）



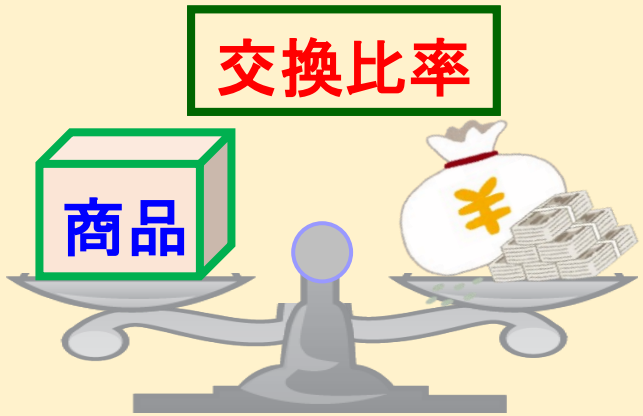
「価格の下落」と「買い控え」が連鎖すると、景気（取引の勢い）はさらに悪化します。これをデフレスパイラルと呼びます。

・デフレ

・景気後退

・GDPを縮小

つまり、デフレは、景気後退を進行させ、GDP（一国の経済規模）を縮小させていくのです。



商品価格

貨幣1万円÷商品1個=1万円

貨幣1万円÷商品2個=0.5万円

下がる

貨幣価値

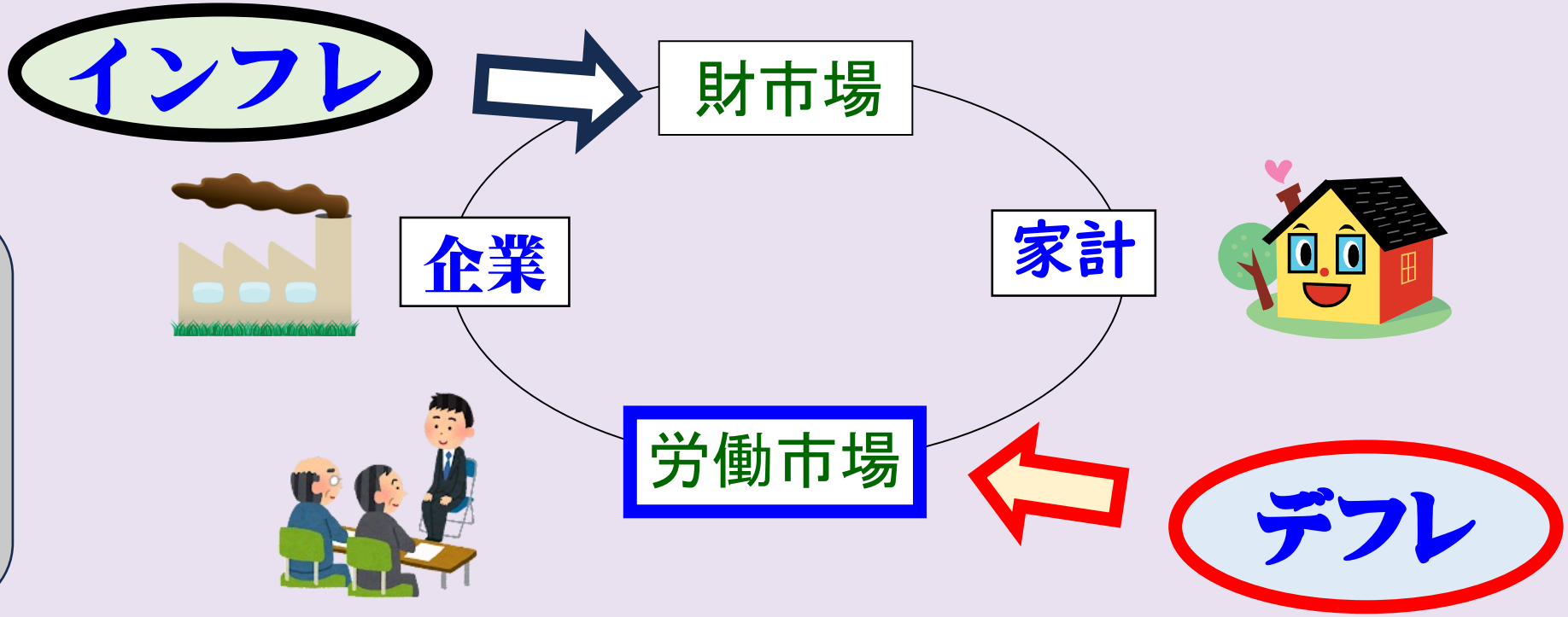
商品1個÷貨幣1万円=1個

商品2個÷貨幣1万円=2個

上がる

ちなみに、デフレで物価が下がるとは、お金の価値が上がることです。商品価格と貨幣価値は、商品量と貨幣量の交換比率を表します。商品価格は、貨幣量（例えば1万円）を特定の商品量（例えば2個）で割った比率です。一方、貨幣価値は、商品量（例えば2個）を特定の貨幣量（例えば1万円）で割った比率です。これらの比率は、物価（すなわち商品価格）が変動するとともに変化します。

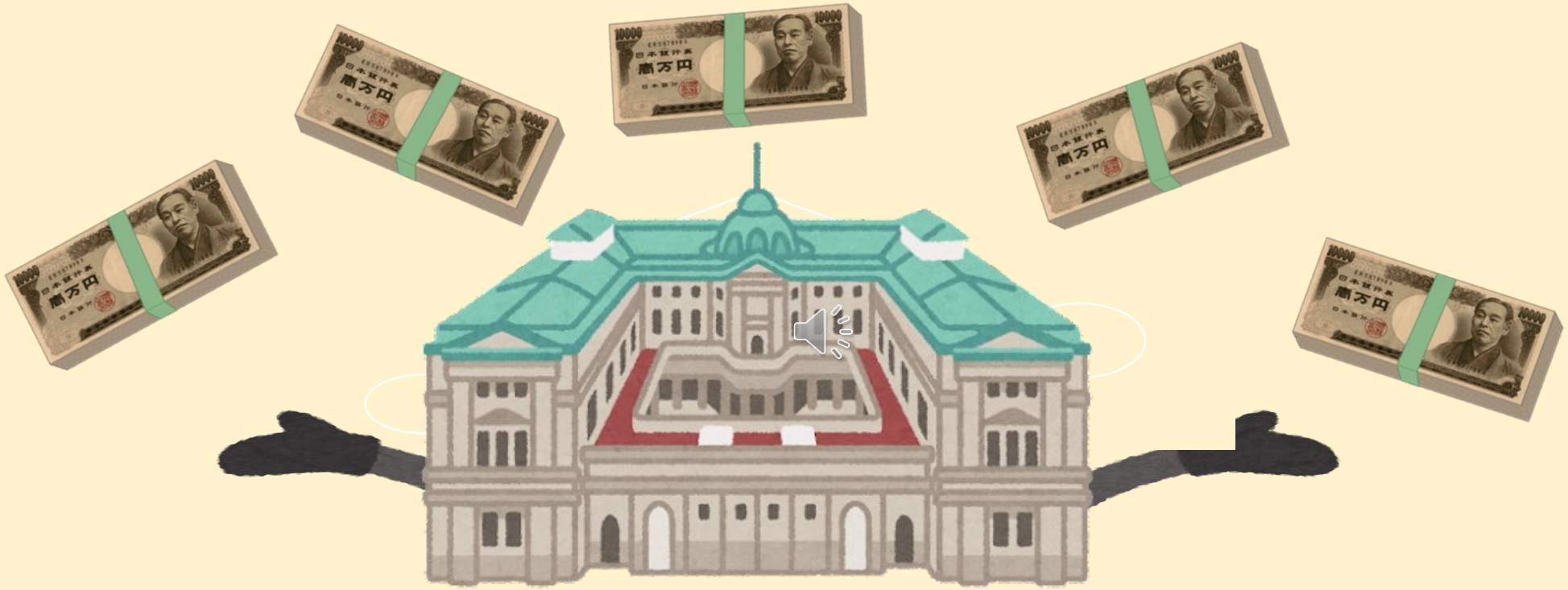
経済の病気



ところで、インフレ（物価上昇）を財市場に起こる病気（値上がりしてモノが買えなくなる）と考えると、デフレ（物価下落）は、労働市場に起こる病気（選べる仕事が少なくなる）と考えられます。

デフレ対策？！

「金融政策」



日本銀行

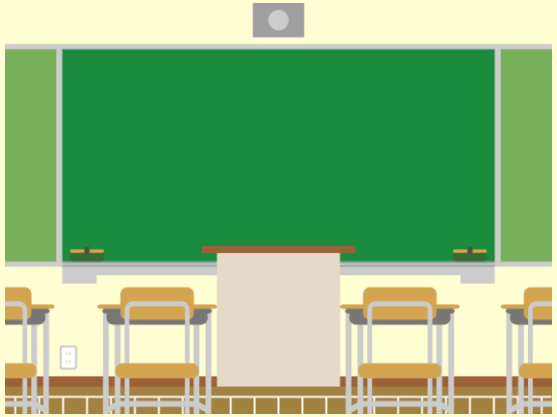
デフレ対策として、金利を下げることや量的緩和を行うなどの政策が挙げられます。

スキルアップ

リスキリング

新たなスキルの習得

一方、生活者ができることとしては、リスキリングを行い、できる仕事の幅を広げておくことです。



それでは、今日はこれで終わります。
次回もお楽しみに。

金融大学